

自動車業界にデータ不正の連鎖 “終わりが見えない” リコール続く

2016年3月から5月までが対象（下表を参照）。データの改ざん、リコールなど自動車業界を中心とした不正の嵐が吹きまわった3カ月だった。

ドイツの、というより世界的な生産台数と歴史を誇るフォルクスワーゲン（VW）の排ガス規制データ不正操作が“対岸の火事”と思っていたら、わが国の軽自動車業界を揺るがす三菱自動車の燃費データ不正が浮上した。それも25年にもわたり軽自動車だけではなく、全車種に及ぶことも判明、日産の傘下に組み込まれることを余儀なくされた。また、業界大手のスズキにも火の手が上がった。

背景にエコを“錦の御旗”とした低燃費競争の販売バトルがあり、ユーザーを欺くことに不感症になったとも思える企業倫理の欠如が透けて見える。

リコール（無料の回収・修理）では、タカタのエアバックが欧米・日本で拡大の一端をたどり、世界で最大1億台、費用1兆円の大会突破という“天文学的”数字となる見通し。

る見通し。

建設関係でも不正が後を絶たない。昨年の三井住友グループの旭化成建材による杭（くい）打ち不正・マンション傾斜に続き、熊谷組施工で住友不動産が販売した、やはり横浜のマンションで同様な施工不良が発覚、全棟建て替えに至っている。

住宅ではないものの、人命に関わるさまざまな工事も相次いだ。羽田空港の滑走路液状化防止の地盤改良工事で、百年企業でもある東亜建設工業が、必要な薬液を設計の5.4%しか注入しなかったのにデータを改ざん、しかも福岡空港、羽田、松山空港の誘導路でも同じ工法と改ざんを行っていた。

そして4月、神戸・新名神高速工事現場に架かる長さ120m、重量1350トンの橋桁が落下、作業員10人の死傷事故があった1カ月後、大阪府箕面市の同じ新名神工事現場で橋桁を支える土台が倒れる事故が発生。

東京メトロではベビーカーをドアに挟んだまま走行、一歩間違えばホーム上の人々をなぎ倒す凶器になった。

コンプライアンス・企業不祥事などの動向

コンプライアンス・企業不祥事などの動向（2016年3月～5月）経営倫理フォーラムまとめ

オリンパス	3月2日	医療機器を販売する米国やブラジルの子会社が医師に不正な便宜を図っていたなどとして、米司法省に罰金や制裁金、計6億3500万ドル（約723億円）を支払うことで和解。訴追は留保される。
住友不動産 熊谷組	3月3日	横浜市西区のマンション5棟のうち1棟が施工ミスで傾き、4棟の基礎部分の鉄筋が誤って切断された疑い。管理組合が補強用の鉄筋のない部分が4棟で計23カ所、新たに見つかったと発表。住友不動産は全棟建て替えを提案。
広島県・府中 緑ヶ丘中学校	3月10日	3年生の男子生徒が誤った万引記録に基づいて進路指導を受けた後に自殺した問題で、指導用資料のデータ管理ミスや担任教諭による配慮を欠いた進路指導に問題があったことが調査報告書で明らかに。万引は別の生徒だった。
独フォルクス ワーゲン (VW)	3月14日	株式を保有する278の法人株主が、排ガス規制逃れによる株価下落で多額の損害を被ったとして約32億ユーロ（約4千億円）の損害賠償を求め、ドイツ北部の地方裁判所に提訴。原告には米国の公務員退職年金基金など。VWは4月22日、22年ぶりに通期で純損失約2千億円の赤字決算を発表。
東芝	3月15日	経営再建中、新たに7件の不正会計が見つかった。税引き前利益で計58億円を水増ししていた。関与部門の役員らは報酬の一部を返上、従業員40人を懲戒処分に。一連の不正会計問題に対する危機意識の欠如が浮き彫り。

（無断での引用・転載を禁じます）

群馬大病院	3月27日	男性医師(退職)の手術を受けた患者が相次いで死亡した問題を受け、日本外科学会が2007~14年度の8年間に術後死亡した患者50人について調べた結果、43人が院内の事故調査担当部署に報告されていなかったことが判明。
東京メトロ	4月4日	半蔵門線の九段下駅(東京都千代田区)で押上行き電車が、車内に乗り切れなかったベビーカーの前輪をドアに挟んだ状態で発車。ベビーカーはホームを約100メートル引きずられ、ホームの先端の鉄さくにつぶつぶつ落ちて線路上に落下した。けが人はなかった。15メートル以上でなかったためドアの検知が働かず、乗客が車内から非常通報し、ホーム上でも非常停止ボタンが押されたが、1人乗務し始めて19日目の新人車掌が非常ブレーキをためらい次駅まで走行してしまっ
旧A I J投資顧問	4月14日	2009~12年、17の年金基金に虚偽の運用実績を示し、水増し価格でファンドを販売、計248億円をだまし取った巨額年金資産消失事件の上告審で、最高裁第1小法廷は元社長ら被告3人の上告を棄却。3人連帯で157億円を追徴。
三菱自動車	4月20日	軽自動車4車種62万5000台に、燃費試験で不正行為があったことを発表。1991年から25年間にわたり、法令と異なる不正な試験方法で燃費データを計測、改ざんして国の認証を不当に得ていた。その後、軽自動車以外の電気自動車など10車種にも不正測定が判明。
西日本高速道路	4月22日 5月19日	神戸市北区の新名神高速道路・有馬川の工事現場で、長さ120メートル、重さ1350トンの橋桁が下を通る国道に落下、作業員10人が死傷した。橋桁西側に設置されていた金属製器具「セッティングビーム」3基(重量75トン)が仮留めで、十分に固定されていなかった。 同じ新名神高速の大阪・箕面市内の工事現場で、建設中の橋桁を支える鉄製の仮の橋脚が立体交差の下を通る箕面有料道路に倒れた。倒れたのは鉄製の支柱を組み合わせた「ベント設備」と呼ばれる高さ13メートル、重さ21トンの土台。上に置いた部材がずれ、重心が偏っていたため倒れた可能性がある。
榊添要一東京都知事	4月28日	公用車で湯河原の別荘に約1年に48回行き来。(5/16)私的な支出を自身が代表を務めていた政治団体の政治資金収支報告書に記載、実際は家族旅行だったので会議費用としてオンブズマンから告発状。「海外交流に活用」としてインターネットのオークションサイトで購入した絵画代金も報告書に記載。
タカタ	4月30日	米道路交通安全局(NHTSA)が5月中に対象を拡大する方針を打ち出したため、エアバッグの対象が約6千万台から1億台を超える見通し。全体のリコール費用の負担は1兆円を上回るとみられる。
東亜建設工業	5月6日	羽田空港C滑走路の液状化を防ぐ地盤改良工事で、必要な薬液を設計の5.4%しか注入しなかったのに仕様通り施工したようにデータを改ざん、国土交通省に虚偽報告。地中に薬液を注入する管計231本すべてが長さや深さが計画と異なり、薬液も1251万リットルに対し68万リットルしか流し込めなかった。同じ工法で行った福岡空港の滑走路と、羽田、松山空港の誘導路でも改ざんをしていた。
三菱自動車 日産自動車	5月12日	燃費データ不正問題で、経営悪化が避けられない三菱自動車の再建を日産が支援する資本業務提携を決めた。日産が2千億円超を出資して三菱自動車株の34%程度を取得して、事実上傘下に入れる。
スズキ	5月18日	現在国内で販売している全車種の燃費データについて、2010年ごろから法令で決められた方法で算定せず、不正に測定していたと発表。対象は主力の軽自動車アルトやワゴンRなど16車種と他社供給分11車種で計約214万台。

※本資料に関する一切の権利は経営倫理フォーラムに帰属します。その全部または一部を無断で引用・転載することを禁じます。イントラネットへの転載や研修・講演などで本資料をご利用の際は、ACBEE事務局にご連絡・ご相談ください(ACBEE団体会員は、事務局への申請のみで本資料の使用料免除)。